

第 8 期 報 告 書

〔 2023年 4 月 1 日から2024年 3 月31日まで 〕

一般財団法人 明治安田健康開発財団

東京都渋谷区代々木三丁目22番7号

目 次

第8期事業報告（2023年4月1日から2024年3月31日まで）

I. 事業の概況	1
II. 事業別概況	2
III. 理事会に関する事項	17
IV. 評議員会に関する事項	21
V. 寄附に関する事項	23
VI. 受取補償金に関する事項	23

第8期決算報告（2023年4月1日から2024年3月31日まで）

I. 貸借対照表	24
II. 正味財産増減計算書	25
III. 財務諸表に対する注記	29
IV. 附属明細書	31
V. 財産目録	32
VI. 監査報告書	34

第9期事業計画（2024年4月1日から2025年3月31日まで）

I. 基本方針	35
II. 実行計画	35
III. 収支予算書	38

第 8 期 事 業 報 告

2023年4月1日から2024年3月31日まで

I. 事業の概況

2023年5月、世界的に猛威を振るった新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は「5類感染症」に位置付けられ、行動制限などは行なわれなくなり、通常の日常生活に戻った。このような環境下において、当財団は移転リニューアルオープンした。

健診事業については、この移転を機に、男女曜日別の受診体制から、毎日受診が可能な男性健診エリア・女性健診エリアに分けた運営体制に変更するとともに、人気の高い内視鏡検査について、2室から8室に拡充を行なった。さらに、協会けんぽを中心とした新規団体からの受診者数の増加、特に50歳代の受診者数の増加、内視鏡の実施者数の増加などが影響し、年間総受診者数は21,000人の大台を超えた。

健康増進支援事業については、昨年度に引き続き明治安田生命が推進する「みんなの健活プロジェクト」、「地元の元気プロジェクト」に関わる支援活動を中心に、健康増進に関する法人向け、住民向けの活動を推進した。具体的な内容として、法人向けでは、従業員の健診結果改善に向けたマニュアルの作成や動画コンテンツの作成を行ない、住民向けでは、健康増進セミナーや各種イベントを開催した。

また、健康経営に関わる業務としては、明治安田生命と連携し、健康経営優良法人の認定取得に向けたコンテンツの開発や、法人向けの体験型セミナーの開催を実施するとともに、本年度からは健康経営におけるコンサルティングも開始した。さらに、コロナ禍で一般化したWEBセミナー・コンテンツの質向上のため、撮影方法や演出、動画コンテンツの編集環境や様々な素材の活用等、非対面型サービスの開発に注力した。

Ⅱ．事業別概況

1．人間ドック（健診）事業

Ⅰ．第8期（2023年度）人間ドック（健診）事業等受診状況

1．性・健診コース別受診者数

表1は、2023年度（第8期）と2022年度（第7期）の受診者数を性・健診コース別の受診者数とその割合、うち午後の健診状況を示したものである。なお、各健診コースの内容は以下のとおりである。

「人間ドック」は日本人間ドック学会で定められている基本検査項目をすべて満たしているコース、「生活習慣病健診」は定期健康診断のコースに生活習慣病にかかる血液検査項目や大腸がん検査等を付加したコース、「定期健康診断等」は労働安全衛生規則により定められている項目ならびにそれに準ずるコース、そして、「その他の健診」は婦人科、乳腺などの単独の検診などである。

【表1】2023年度（第8期）・2022年度（第7期）の性・健診コース別受診者数と平均年齢

（全体）

（単位：人、％〈小数点第2位四捨五入〉）

		2023年度（第8期）						2022年度（第7期）					
		男性		女性		合計		男性		女性		合計	
		受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
受診者数	人間ドック（総合健診）	6,233	61.8	6,212	56.7	12,445	59.2	6,202	64.5	5,978	56.2	12,180	60.1
	生活習慣病健診	1,577	15.6	1,914	17.5	3,491	16.6	1,273	13.2	1,682	15.8	2,955	14.6
	定期健康診断等	2,082	20.7	1,806	16.5	3,888	18.5	1,990	20.7	1,694	15.9	3,684	18.2
	その他の健診	188	1.9	1,021	9.3	1,209	5.7	153	1.6	1,282	12.1	1,435	7.1
	合 計	10,080	100	10,953	100	21,033	100	9,618	100	10,636	100	20,254	100
平均年齢（歳）	人間ドック（総合健診）	52.0		52.2		52.1		51.9		52.2		52.1	
	生活習慣病健診	48.3		48.2		48.3		47.6		48.1		47.9	
	定期健康診断等	31.6		30.3		31.0		30.7		30.2		30.4	
	その他の健診	35.6		43.0		41.9		40.6		43.7		43.4	
	合 計	46.9		47.0		47.0		46.8		47.0		46.9	

（午後）

（単位：人、％〈小数点第2位四捨五入〉）

		2023年度（第8期）						2022年度（第7期）					
		男性		女性		合計		男性		女性		合計	
		受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
受診者数	人間ドック（総合健診）	71	10.4	132	9.0	203	9.5	160	19.9	296	15.0	456	16.4
	生活習慣病健診	84	12.3	97	6.6	181	8.4	104	12.9	135	6.8	239	8.6
	定期健康診断等	503	73.8	495	33.8	998	46.5	528	65.6	538	27.3	1,066	38.4
	その他の健診	24	3.5	742	50.6	766	35.7	13	1.6	1,004	50.9	1,017	36.6
	合 計	682	100	1,466	100	2,148	100	805	100	1,973	100	2,778	100
平均年齢（歳）	人間ドック（総合健診）	50.9		51.9		51.6		49.4		48.5		48.8	
	生活習慣病健診	44.8		47.6		46.3		43.9		45.1		44.6	
	定期健康診断等	30.7		28.9		29.8		29.6		28.8		28.9	
	その他の健診	40.1		43.8		43.7		39.9		43.8		43.8	
	合 計	34.9		39.8		38.2		35.2		40.5		39.0	

- 1) 2023年度（第8期）の各健診コースの受診者数の合計は21,033人で、2022年度（第7期）に比べ、男性462人、女性317人、全体では779人増加した。
- 2) 2023年度の男女の受診割合は、女性受診者の割合が52.1%となった。
- 3) 各健診コースの受診者数は、その他の健診コース以外の人間ドック、生活習慣病健診、定期健康診断等で増加した。
- 4) 平均年齢は、人間ドック（総合健診）は52.1歳、生活習慣病健診は48.3歳、定期健康診断等は31.0歳、その他の健診は41.9歳となった。

2. 性・月別受診者数

表2は、2023年度（第8期）と2022年度（第7期）の性・月別受診者数とその割合、うち午後の健診状況を示したものである。

【表2】2023年度（第8期）・2022年度（第7期）の性・月別受診者数

（全体）

（単位：人、％〈小数点第2位四捨五入〉）

	2023年度（第8期）						2022年度（第7期）					
	男性		女性		合計		男性		女性		合計	
	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
4月	17	0.2	69	0.6	86	0.4	414	4.3	366	3.4	780	3.9
5月	566	5.6	493	4.5	1,059	5.0	408	4.2	300	2.8	708	3.5
6月	968	9.6	992	9.1	1,960	9.3	778	8.1	980	9.2	1,758	8.7
7月	968	9.6	1,046	9.5	2,014	9.6	895	9.3	963	9.1	1,858	9.2
8月	1,110	11.0	1,063	9.7	2,173	10.3	923	9.6	1,144	10.8	2,067	10.2
9月	1,183	11.7	1,486	13.6	2,669	12.7	1,139	11.8	1,305	12.3	2,444	12.1
10月	1,365	13.5	1,741	15.9	3,106	14.8	1,163	12.1	1,316	12.4	2,479	12.2
11月	1,096	10.9	1,255	11.5	2,351	11.2	1,130	11.7	1,343	12.6	2,473	12.2
12月	871	8.6	928	8.5	1,799	8.6	916	9.5	996	9.4	1,912	9.4
1月	699	6.9	556	5.1	1,255	6.0	711	7.4	742	7.0	1,453	7.2
2月	676	6.7	654	6.0	1,330	6.3	674	7.0	704	6.6	1,378	6.8
3月	561	5.6	670	6.1	1,231	5.9	467	4.9	477	4.5	944	4.7
合 計	10,080	100	10,953	100	21,033	100	9,618	100	10,636	100	20,254	100

（午後）

（単位：人、％〈小数点第2位四捨五入〉）

	2023年度（第8期）						2022年度（第7期）					
	男性		女性		合計		男性		女性		合計	
	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
4月	0	0.0	0	0.0	0	0.0	31	3.9	40	2.0	71	2.6
5月	28	4.1	46	3.1	74	3.4	48	6.0	53	2.7	101	3.6
6月	36	5.3	99	6.8	135	6.3	32	4.0	127	6.4	159	5.7
7月	91	13.3	153	10.4	244	11.4	80	9.9	228	11.6	308	11.1
8月	116	17.0	150	10.2	266	12.4	119	14.8	277	14.0	396	14.3
9月	50	7.3	217	14.8	267	12.4	93	11.6	253	12.8	346	12.5
10月	99	14.5	186	12.7	285	13.3	86	10.7	221	11.2	307	11.1
11月	68	10.0	124	8.5	192	8.9	97	12.0	235	11.9	332	12.0
12月	39	5.7	118	8.0	157	7.3	69	8.6	201	10.2	270	9.7
1月	48	7.0	91	6.2	139	6.5	65	8.1	143	7.2	208	7.5
2月	56	8.2	104	7.1	160	7.4	55	6.8	119	6.0	174	6.3
3月	51	7.5	178	12.1	229	10.7	30	3.7	76	3.9	106	3.8
合 計	682	100	1,466	100	2,148	100	805	100	1,973	100	2,778	100

- 1) 2023年度（第8期）の健診稼働日は222日（男性222日、女性221日）となり、健診センター移転に伴い営業日が25日減少した。1日当たりの平均受診者数は95.0人（男性45.4人、女性49.6人）となった。
- 2) 2023年度（第8期）は午後の人間ドック、生活習慣病健診、定期健康診断等は前年度に比べ630人減少した。
- 3) 2023年度（第8期）月別受診者数のピークは10月の3,106人であり、受診者数2,000人以上の月が7月、8月、9月、10月、11月と5か月連続した。

3. 性・年齢階級別受診者数

表3は、2023年度（第8期）と2022年度（第7期）の受診者数を性・年齢階級別に示したものである。

【表3】2023年度（第8期）・2022年度（第7期）の性・年齢階級別受診者数

（単位：人、％〈小数点第2位四捨五入〉）

	2023年度（第8期）						2022年度（第7期）					
	男性		女性		合計		男性		女性		合計	
	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
29歳以下	1,116	11.1	1,336	12.2	2,452	11.7	1,143	11.9	1,289	12.1	2,432	12.0
30－39歳	1,846	18.3	1,864	17.0	3,710	17.6	1,784	18.5	1,793	16.9	3,577	17.7
40－49歳	2,689	26.7	2,715	24.8	5,404	25.7	2,498	26.0	2,722	25.6	5,220	25.8
50－59歳	2,737	27.2	3,174	29.0	5,911	28.1	2,541	26.4	3,041	28.6	5,582	27.6
60－69歳	1,325	13.1	1,482	13.5	2,807	13.3	1,244	12.9	1,374	12.9	2,618	12.9
70歳以上	367	3.6	382	3.5	749	3.6	408	4.2	417	3.9	825	4.1
合 計	10,080	100	10,953	100	21,033	100	9,618	100	10,636	100	20,254	100

- 1) 2023年度（第8期）の年齢階級別の受診者における、70歳以上は76人減少したものの、それ以外の年齢階級はすべて増加した。
- 2) 年齢階級別には、50－59歳で329人と最も増加した。

4. 性・受診回数別受診者数

表4は、2023年度（第8期）と2022年度（第7期）の受診者数を性・受診回数別にその割合を示したものである。

【表4】2023年度（第8期）・2022年度（第7期）の性・受診回数別受診者数

（単位：人、％〈小数点第2位四捨五入〉）

	2023年度（第8期）						2022年度（第7期）					
	男性		女性		合計		男性		女性		合計	
	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
初回受診	2,139	21.2	2,684	24.5	4,823	22.9	2,066	21.5	2,623	24.7	4,689	23.2
2回	1,510	15.0	1,543	14.1	3,053	14.5	1,364	14.2	1,390	13.1	2,754	13.6
3回	976	9.7	964	8.8	1,940	9.2	1,110	11.5	1,099	10.3	2,209	10.9
4回	916	9.1	885	8.1	1,801	8.6	795	8.3	858	8.1	1,653	8.2
5回	701	7.0	726	6.6	1,427	6.8	694	7.2	651	6.1	1,345	6.6
6－9回	1,530	15.2	1,605	14.7	3,135	14.9	1,307	13.6	1,486	14.0	2,793	13.8
10－14回	1,060	10.5	1,162	10.6	2,222	10.6	1,066	11.1	1,196	11.2	2,262	11.2
15－19回	716	7.1	896	8.2	1,612	7.7	722	7.5	889	8.4	1,611	8.0
20－24回	306	3.0	310	2.8	616	2.9	268	2.8	285	2.7	553	2.7
25－29回	133	1.3	103	0.9	236	1.1	138	1.4	86	0.8	224	1.1
30回以上	93	0.9	75	0.7	168	0.8	88	0.9	73	0.7	161	0.8
合 計	10,080	100	10,953	100	21,033	100	9,618	100	10,636	100	20,254	100

- 1）2023年度（第8期）の初回受診の全体人数は前年度に比べ134人（男性73人、女性61人）増加し、受診回数2回目の受診者数についても299人（男性146人、女性153人）増加した。
- 2）2023年度（第8期）は前年度に比べ、受診回数が3回－9回は303人（男性217人、女性86人）、10回－29回は36人（男性21人、女性15人）、30回以上についても7人（男性5人、女性2人）増加した。

5. 契約健保・団体、一般の個人からの受診状況

表5は、契約健康保険組合と事業所団体（健保・団体）、協会けんぽ、ならびに個人（一般・個人）の受診状況を示したものである。

【表5】2023年度（第8期）・2022年度（第7期）の性・契約（一般・団体）別受診者数

（単位：人、％〈小数点第2位四捨五入〉）

	2023年度（第8期）						2022年度（第7期）					
	男性		女性		合計		男性		女性		合計	
	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
新宿区民健診	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0	66	0.6	67	0.3
MYヘルス倶楽部	246	2.4	338	3.1	584	2.8	263	2.7	340	3.2	603	3.0
協会けんぽ	1,968	19.5	1,573	14.4	3,541	16.8	1,508	15.7	1,313	12.3	2,821	13.9
一般・個人	56	0.6	123	1.1	179	0.9	25	0.3	105	1.0	130	0.6
健保・団体	7,810	77.5	8,919	81.4	16,729	79.5	7,821	81.3	8,812	82.9	16,633	82.1
合 計	10,080	100	10,953	100	21,033	100	9,618	100	10,636	100	20,254	100

- 1) 2023年度（第8期）は、渋谷区への移転に伴い、新宿区の健診は終了した。
- 2) 「MYヘルス倶楽部」の2023年度（第8期）の受診者数については、2022年度（第7期）より19人減少した。
MYヘルス倶楽部は退職後に加入する国民健康保険者、健康保険組合や団体から補助のない方が対象者である。
- 3) 「協会けんぽ」の2023年度（第8期）受診者は、新規団体が増えたことなどにより、受診者割合が16.8%と前年度より2.9%増加し、受診者数も720人増加した。
- 4) 契約健康保険組合・事業所団体（「健保・団体」）の2023年度（第8期）の受診者は、男性が11人減少したものの、女性は107人増加した。

6. 性・年齢階級別腹部超音波・上部消化管（X線・内視鏡）検査の受診状況

表6は、性・年齢階級別の腹部超音波、上部消化管X線、上部消化管内視鏡による各検査の受診者数とその割合を示したものである。

【表6】2023年度（第8期）・2022年度（第7期）の性・年齢階級別
腹部超音波・上部消化管（X線・内視鏡）検査受診状況

（男性）

（単位：人、％〈小数点第2位四捨五入〉）

	受診者数	2023年度（第8期）						受診者数	2022年度（第7期）					
		腹部超音波		上部消化管X線		上部消化管内視鏡			腹部超音波		上部消化管X線		上部消化管内視鏡	
		受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率		受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
29歳以下	1,116	37	3.3	16	1.4	10	0.9	1,143	34	3.0	19	1.7	7	0.6
30－39歳	1,846	694	37.6	599	32.4	296	16.0	1,784	708	39.7	691	38.7	213	11.9
40－49歳	2,689	2,135	79.4	1,423	52.9	947	35.2	2,498	2,097	83.9	1,516	60.7	738	29.5
50－59歳	2,737	2,391	87.4	1,404	51.3	1,050	38.4	2,541	2,302	90.6	1,476	58.1	819	32.2
60－69歳	1,325	1,149	86.7	581	43.8	549	41.4	1,244	1,111	89.3	596	47.9	483	38.8
70歳以上	367	338	92.1	113	30.8	176	48.0	408	382	93.6	129	31.6	178	43.6
合 計	10,080	6,744	66.9	4,136	41.0	3,028	30.0	9,618	6,634	69.0	4,427	46.0	2,438	25.3

（女性）

（単位：人、％〈小数点第2位四捨五入〉）

	受診者数	2023年度（第8期）						受診者数	2022年度（第7期）					
		腹部超音波		上部消化管X線		上部消化管内視鏡			腹部超音波		上部消化管X線		上部消化管内視鏡	
		受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率		受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
29歳以下	1,336	47	3.5	10	0.7	13	1.0	1,289	38	2.9	24	1.9	8	0.6
30－39歳	1,864	743	39.9	500	26.8	322	17.3	1,793	689	38.4	534	29.8	202	11.3
40－49歳	2,715	2,066	76.1	1,019	37.5	970	35.7	2,722	2,004	73.6	1,205	44.3	690	25.3
50－59歳	3,174	2,515	79.2	1,122	35.3	1,098	34.6	3,041	2,370	77.9	1,296	42.6	814	26.8
60－69歳	1,482	1,231	83.1	480	32.4	527	35.6	1,374	1,132	82.4	504	36.7	408	29.7
70歳以上	382	343	89.8	94	24.6	149	39.0	417	365	87.5	134	32.1	118	28.3
合 計	10,953	6,945	63.4	3,225	29.4	3,079	28.1	10,636	6,598	62.0	3,697	34.8	2,240	21.1

- 1）2023年度（第8期）の腹部超音波検査の受診者は、前年度に比べ、男性が110人、女性が347人増加した。
- 2）2023年（第8期）の上部消化管X線検査の受診者は、前年度に比べ、男性が291人、女性が472人減少した。
- 3）上部消化管X線検査の受診者が減少する一方で、上部消化管内視鏡検査については、2023年度（第8期）は、男性590人、女性839人と、それぞれ大幅に増加した。これは、移転後の2023年（第8期）に内視鏡検査室を2室から8室に増やしたことで、検査機会の増加や予約のとりやすさの改善が図られたことによる。

7. 女性の婦人科検診、乳房検診の実施状況

表7は、女性の婦人科検診、乳房検診の実施状況ならびに乳房検診におけるエコー（超音波）とマンモグラフィの受診者数と実施率を示したものである。

【表7】2023年度（第8期）・2022年度（第7期）の年齢階級別婦人科検診・乳房検診受診状況

（単位：人、％〈小数点第2位四捨五入〉）

	受診者数	2023年度（第8期）							
		婦人科検診		乳房検診		エコー		マンモグラフィ	
		受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
29歳以下	1,336	398	29.8	337	25.2	337	25.2	2	0.1
30－39歳	1,864	945	50.7	1,097	58.9	1,024	54.9	161	8.6
40－49歳	2,715	1,877	69.1	2,144	79.0	1,294	47.7	1,413	52.0
50－59歳	3,174	2,108	66.4	2,387	75.2	1,238	39.0	1,757	55.4
60－69歳	1,482	982	66.3	1,142	77.1	523	35.3	837	56.5
70歳以上	382	247	64.7	291	76.2	142	37.2	198	51.8
合 計	10,953	6,557	59.9	7,398	67.5	4,558	41.6	4,368	39.9

（単位：人、％〈小数点第2位四捨五入〉）

	受診者数	2022年度（第7期）							
		婦人科検診		乳房検診		エコー		マンモグラフィ	
		受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率	受診者	占率
29歳以下	1,289	310	24.0	333	25.8	330	25.6	10	0.8
30－39歳	1,793	898	50.1	1,109	61.9	1,006	56.1	212	11.8
40－49歳	2,722	1,811	66.5	2,115	77.7	1,229	45.2	1,374	50.5
50－59歳	3,041	2,030	66.8	2,324	76.4	1,134	37.3	1,719	56.5
60－69歳	1,374	893	65.0	1,061	77.2	469	34.1	762	55.5
70歳以上	417	265	63.5	326	78.2	153	36.7	227	54.4
合 計	10,636	6,207	58.4	7,268	68.3	4,321	40.6	4,304	40.5

- 1) 受診者数が最も多かった年齢階級は、50－59歳であった。
- 2) 乳房検診では、39歳以下の受診者には、エコーを勧奨しており、エコーの実施率は30－39歳が最も高かった（54.9％）。
一方で、40歳以上の受診者にはマンモグラフィを勧奨していることもあり、40歳以上の年齢階級では、マンモグラフィの実施率がエコーの実施率を上回った。

8. 性・検査対象疾患別の判定結果

表8は、人間ドック学会統計に準じて検査対象疾患別の判定結果を男女別に示したものである。
なお、判定は人間ドック学会の判定基準に準拠した。

- C ：生活習慣の改善ならびに経過観察が必要
- D 2：精密検査が必要
- D 1：治療が必要
- E ：継続治療

【表 8】 2023 年度（第 8 期）・2022 年度（第 7 期）の性・検査対象疾患別判定結果

（単位：％〈小数点第 2 位四捨五入〉）

疾 患 名	検査方法	性別	2023 年度（第 8 期）				2022 年度（第 7 期）			
			判 定 区 分（占率）				判 定 区 分（占率）			
			C	D 1	D 2	E	C	D 1	D 2	E
肥 満（過 体 重）	身 体 測 定	男	31.1	0.0	0.0	0.0	30.5	0.0	0.0	0.0
		女	17.8	0.0	0.0	0.0	16.4	0.0	0.0	0.0
呼 吸 器 疾 患	胸 部 X 線	男	2.5	0.0	1.2	0.1	2.5	0.0	1.0	0.1
		女	2.3	0.0	1.3	0.1	2.0	0.0	1.0	0.1
高 血 圧	血 圧 測 定	男	9.0	1.8	0.0	15.8	8.8	2.3	0.0	15.5
		女	5.9	1.1	0.0	8.5	4.8	1.0	0.0	8.5
高コレステロール	血 液 生 化 学	男	22.5	3.9	0.0	0.0	22.7	3.4	0.0	0.0
		女	19.0	3.3	0.0	0.0	18.4	3.0	0.0	0.0
高 中 性 脂 肪	血 液 生 化 学	男	2.8	0.7	0.0	0.0	2.6	0.9	0.0	0.0
		女	0.5	0.1	0.0	0.0	0.5	0.1	0.0	0.0
高 尿 酸	血 液 生 化 学	男	5.9	1.5	0.0	7.7	5.8	1.8	0.0	7.7
		女	0.4	0.1	0.0	0.2	0.4	0.1	0.0	0.2
心 電 図 異 常	心 電 図	男	8.6	0.0	1.0	0.4	7.9	0.0	1.0	0.6
		女	5.1	0.0	0.7	0.1	5.7	0.0	0.5	0.1
食 道 疾 患	胃 部 X 線	男	26.1	0.3	0.8	0.0	19.8	0.1	0.5	0.0
	胃 部 内 視 鏡	女	26.0	0.1	0.4	0.0	13.4	0.1	0.3	0.0
胃 疾 患	胃 部 X 線	男	35.6	0.4	1.7	0.0	32.5	0.2	1.7	0.0
	胃 部 内 視 鏡	女	42.7	0.2	1.4	0.0	38.3	0.4	1.4	0.0
十 二 指 腸 疾 患	胃 部 X 線	男	2.9	0.1	0.3	0.0	3.1	0.0	0.1	0.0
	胃 部 内 視 鏡	女	1.6	0.1	0.3	0.0	1.2	0.0	0.1	0.0
胆石・胆のうポリープ	腹 部 超 音 波	男	27.7	0.0	2.3	0.0	30.6	0.0	1.9	0.0
		女	21.6	0.0	1.3	0.0	22.0	0.0	1.4	0.0
肝 機 能 障 害 （ 脂 肪 肝 含 ）	血 液 生 化 学	男	36.8	0.0	5.2	0.2	35.5	0.0	5.0	0.3
	腹 部 超 音 波	女	13.7	0.0	1.1	0.2	12.8	0.0	1.1	0.2
糖 尿 病 （ 耐 糖 能 障 害 ）	血 液 生 化 学	男	10.4	3.0	0.1	5.2	10.0	2.9	0.1	5.1
		女	7.9	1.1	0.1	2.0	6.4	0.9	0.1	1.9
血 液 疾 患	血 液 生 化 学	男	10.4	0.0	3.9	0.1	9.8	0.0	3.8	0.1
		女	20.0	0.0	4.3	0.9	19.4	0.0	4.3	0.9
肛 門 ・ 大 腸 疾 患	便 潜 血 反 応	男	0.0	0.0	5.4	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0
		女	0.0	0.0	4.6	0.0	0.0	0.0	4.9	0.0
前 立 腺 疾 患	P S A 検 査	男	0.0	0.0	4.2	0.1	0.0	0.0	4.1	0.0
		女	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
婦 人 科	婦 人 科	男	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		女	17.7	0.9	4.9	1.9	18.5	0.8	4.6	1.3
乳 房 疾 患	触 診 ・ 超 音 波	男	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	マンモグラフィ	女	4.5	0.0	2.5	0.1	4.9	0.0	1.0	0.0
その他の疾患		男	28.6	0.0	10.5	2.2	26.3	0.0	11.7	2.3
		女	25.5	0.0	7.6	2.2	25.1	0.0	5.7	2.3

- 1) 2023 年度（第 8 期）の検査対象疾患別の判定結果で「要精密検査（D 2）」と判定された割合が高い疾患は、男性では肛門・大腸疾患、肝機能障害（脂肪肝含）、前立腺疾患、女性では婦人科、肛門・大腸疾患、血液疾患であった。
- 2) 「生活習慣の改善ならびに経過観察が必要（C）」と判定された割合が高い疾患は、男性では、肝機能障害（脂肪肝含）、胃疾患、肥満（過体重）、胆石・胆のうポリープ、食道疾患、女性では、胃疾患、食道疾患、胆石・胆のうポリープ、血液疾患、高コレステロールであった。とくに食道疾患については、男性・女性とも大幅に増加した。

Ⅱ. 特定健診・特定保健指導・保健指導実施状況

2023年度（第8期）は、問診室を男女フロアに各3室設置する運用に変更した。

特定保健指導の実施者数は、2022年度と比較すると減少した。

なお、2024年度からはすべての特定保健指導の団体を初回面談対象として運用する事とした。

【表9】2023年度（第8期）・2022年度（第7期）の特定健診受診状況

	2023年度（第8期）			2022年度（第7期）		
	男性（人）	女性（人）	合計（人）	男性（人）	女性（人）	合計（人）
特定健診受診者数	10,074	10,946	21,020	8,542	8,902	17,444

【表10】2023年度（第8期）・2022年度（第7期）の特定保健指導実施状況

	2023年度（第8期）			2022年度（第7期）		
	男性（人）	女性（人）	合計（人）	男性（人）	女性（人）	合計（人）
動機づけ	0	1	1	2	1	3
積極的	2	2	4	6	3	9
合計	2	3	5	8	4	12

【表11】2023年度（第8期）・2022年度（第7期）の保健指導実施状況

	2023年度（第8期）			2022年度（第7期）		
	男性（人）	女性（人）	合計（人）	男性（人）	女性（人）	合計（人）
保健指導	2,517	2,345	4,862	2,495	1,904	4,399

Ⅲ. 調査研究・普及啓発活動

人間ドック等から得られるデータに基づき、公衆衛生の向上に資する調査研究および知見の普及啓発に取り組んだ。実施状況は下表のとおり。

1. 論文、報告物、出版物などの報告・発行

著 者 名	題 名	掲載誌名・発行年
崎 宗 春、矢 野 文 章、 石 川 佳 孝、高 橋 慶 太、 原 圭 吾、増 田 隆 洋、 黒河内 喬範、宇野 耕平、 谷島 雄一郎、三森 教雄、 衛藤 謙	ロボット支援下胃切除術の導入および術後 短期成績の検討	日本内視鏡外科学会雑誌 28 (7) ,1122 (2023)

2. 学会・研究会の発表

2023年度学会・研究会の発表はありません。

3. ホームページによる健康情報発信

明治安田新宿健診センター HP「健康のひけつ」

No.	年	月	題名	執筆者名
50	2023	6	帯状疱疹ワクチンの有用性	医師 井上 果菜子
51	2023	7	塩分摂取を見直そう	管理栄養士 安部 智子
52	2023	9	頸動脈エコーってどんな検査	検査技師 小曳 彩
53	2023	10	正しい手洗いの方法について	看護師 沼田 仁美 柿沼 唯
54	2023	11	ブレスト・アウェアネスご存知ですか？	診療放射線技師チーム 堀内 久美子
55	2023	12	ふくらはぎ強化で健康増進！	健康運動実践指導者 宗嶋 潤

2. 健康増進支援事業

1. 健康情報の普及啓発

(1) 健康増進セミナー

科学的根拠に基づいた健康情報の普及啓発活動として、健康増進セミナーを実施した。実施状況に関しては下表のとおり。

実施実績*	実施形式	
	明治安田生命グループ向け	社外向け
65回	53回	12回

※ 地方創生・健康経営を除く

(2) 健康経営の普及啓発・活動支援

健康経営の各種認定取得、講演の実施、他社支援等、幅広く実施した。実施状況に関しては下表のとおり。

①当財団の健康経営等認定状況

No.	年度目標（認定団体）	認定日
1	東京都スポーツ推進企業（東京都）	2023年12月15日
2	健康優良企業（金の認定） （健康保険組合連合会東京支部）	2023年12月25日
3	スポーツエールカンパニー （スポーツ庁）	2024年1月23日
4	健康経営優良法人 （経済産業省・日本健康会議）	2024年3月11日（ブライト500取得）

②健康経営セミナー

実施実績	実施形式
52回	対面型：26回，Web：21回 ハイブリッド：5回

③健康経営支援（コンテンツ提供・コンサルタント・申請支援）

認定制度		支援企業数
健康優良企業	銀の認定	0社
健康経営優良法人	大規模法人部門	9社
	中小規模法人部門	2社

(3) 地方創生支援

自治体等と連携し各地で講演・支援を実施した。実施状況に関しては下表のとおり。

①自治体と連携した事業

実施実績	開催地
43回 (対面：43, web：0) セミナー：27 イベント：16	【埼玉】川越市・坂戸市・東松山市・入間郡三芳町・比企郡吉見町・比企郡嵐山町・秩父郡小鹿野町【千葉】市川市・大網白里市・千葉市【東京】北区・練馬区・東久留米市・町田市【新潟】佐渡市【愛知】幸田町【滋賀】栗東市【島根】出雲市【山口】山口市

②公民館と連携した事業

実施実績	開催地
44回 (対面：44, web：0)	【北海道】夕張市拠点総合施設「りすた」(夕張市)・苫小牧市民活動センター(苫小牧市)・旭川市東光公民館(旭川市)・愛別町公民館(愛別町)【岩手】猿沢市民センター(一関市)【秋田】秋田市北部市民サービスセンター(秋田市)【茨城】土浦市老人福祉施設「つわぶき」(土浦市)【埼玉】春日部市豊野地区公民館(春日部市)【千葉】袖ヶ浦市永浦公民館(袖ヶ浦市)・君津中央公民館(君津市)・周南公民館(君津市)・花園公民館(千葉市)【東京】台東区社会福祉事業団(台東区)・シニアステーション田園調布(大田区)・シニアステーション東嶺町(大田区)・シニアステーション馬込(大田区)・シニアステーション田園調布西(大田区)【神奈川】平塚市岡崎公民館(平塚市)・平塚市中原公民館(平塚市)【山梨】竜王南部公民館(甲斐市)【静岡】浜松市可美協働センター(浜松市)【京都】京田辺市中央公民館(京田辺市)【大阪】守口第4地域包括支援センター(守口市)・門真市保健福祉センター(門真市)【兵庫】三木市中央公民館(三木市)【鳥取】岩美東コミュニティセンター(岩美町)・鹿野地区公民館(岩美町)・湖南地区公民館(鳥取市)【福岡】ひまわり台公民館(太宰府市)【沖縄】室川公民館(沖縄市)

2. 調査研究活動

(1) 論文・報告書などの報告

著者名	題名	掲載誌名・発行年
苦米地 伸泰、中澤 翔、 奥原 尚之、青木 稜	3週間・合計9セッションの反復スプリントサイクリングトレーニング期間におけるペダリングパフォーマンスと下肢部位別主観的運動強度の変化	Strength & conditioning journal Volume30, Number8, 2023
シェパード 正樹、 安藤 孝敏、木村 由香	介護福祉施設における健康経営による人材確保等への影響 - 神奈川県内の取り組みに着目して -	神奈川県公衆衛生学会誌, 69号, 2023年

(2) 出版物などの発行

No.	題名	連携先・発行元
1	明治安田健康経営認定支援サービス G U I D E B O O K 2024年2月改訂版	明治安田生命保険相互会社 地域リレーション推進部
2	明治安田健康経営認定支援サービス 「健康優良企業（銀の認定）」版 G U I D E B O O K 2024年2月改訂版	

(3) 健康情報誌の出版・寄稿

①明治安田生命職員用冊子「まなび！（健活サポーターのための健康プチ知識）」

No.	年	月	題名	著者名
1	2023	6	発症・重症化する前に！今できる【がん対策】	宇野 真里子
2	2024	3	「就寝前のひと工夫」をお客さまとの活動づくりに！	宇野 真里子

②明治安田生命労働組合冊子「きらら（健康あれこれ）」

No.	年	月	題名	著者名
1	2023	4	まだ間に合う！健康診断までの過ごし方のポイント	吉田 朋子
2	2023	6	意外と知らない…災害時の避難行動は体力が必要！	宇野 真里子
3	2023	8	かしこく選んでおいしく飲もう！	下村 有希
4	2023	10	腹筋は「体」を支える重要な「幹」かんたん！腹横筋トレーニングのすすめ	宗嶋 潤
5	2023	12	一緒に食べよう！共食のすすめ	鈴木 詩乃
6	2024	1	運動と記憶について	シェパード 正樹

③明治安田生命労働組合冊子「きらら（健康倶楽部）」

No.	年	月	題名	著者名
1	2023	4	スマートフォンやパソコンの見過ぎは要注意！スマホ首にならないための予防・改善方法	原 悠樹
2	2023	6	今からできる熱中症対策“暑熱順化”	宇野 真里子
3	2023	8	動いて休憩！？仕事の疲れは“アクティブレスト”で対策を	西村 裕介
4	2023	10	“たんぱく質”ってどのくらい必要？	吉田 朋子
5	2023	12	効率よくエネルギーを消費するためのウォーキング	宗嶋 潤
6	2024	1	1年の目標設定をしよう！	塙 智史

④明治安田生命MY ポケット資料「健康News」

No.	題名	著者名
1	職場における腰痛対策	西村 裕介
2	受けよう！婦人科検診（乳がん・子宮がん検診等）	長沼 由紀子
3	災害時、命を守るのに体力も必要！？	河原 賢二
4	働きやすい環境作り ～ワーク・エンゲイジメントを高めよう！～	シェパード 正樹
5	「怒りの感情」を適切に対処しよう！	西村 裕介
6	「運動機会の増進にむけた取り組み」として 体を動かすチャンスを提供しよう！	原 悠樹
7	「ワークライフバランス」は、企業成長のカギ	西村 裕介
8	おいしく健康的に「間食」をとるコツ	下村 有希 鈴木 詩乃
9	健康診断は、受診後が重要	長沼 由紀子
10	オフィスワークの「肩こり」対策	西村 裕介
11	意識していますか？傾聴力	長沼 由紀子
12	注意したい「労働者の転倒」	シェパード 正樹

⑤明治安田健康経営認定支援サービス VOD

No.	題名
1	認定支援サービス（全国版）VOD・パート1 認定支援サービスの全体像について
2	認定支援サービス（銀の認定版）VOD・パート2 認定支援サービスの全体像について
3	認定支援サービス VOD・パート3 2023年度“健康経営優良法人”改訂ポイント
4	認定支援サービス（全国版）VOD・パート4 『健康経営優良法人2024』申請方法について

⑥明治安田生命グループ従業員向け施策・コンテンツ作成

No.	年	月	題名
1	2023	4	「健診直前強化月間」健診カウントダウンカレンダーの作成
2	2023	5	「MY健活アドバイス」5月～11月にかけて使用状況をヒアリング
3	2023	9	「9月MY健活デー」健活体操周知動画と資料を作成 ①「“みんなの健活体操 with Jリーグ”と“松岡修造の元気体操”を紹介」 ②「みんなの健活体操 with Jリーグのポイント解説」
4	2023	冬	「労働組合依頼」ヘルシー料理コンテストの審査
5	2024	1	「健活週間」健活週間の取組周知動画の作成、健活行動早見表の作成

⑦明治安田生命グループ従業員向け動画コンテンツ「MYログ対抗戦好事例紹介」

No.	取材先
1	秘書部
2	不動産部
3	公法人第一部
4	江東支社
5	明治安田総合研究所

⑧明治安田生命 支社・本部向け動画作成

No.	題名
1	ストレスとの上手な付き合い方
2	自分でできる！ 肩こり・腰痛セミナー
3	女性のための食育セミナー ～すこやかな毎日のために～

⑨明治安田生命 法人部向け動画作成

No.	題名
1	健活分析レポート解説VOD

⑩法人・団体からの依頼に基づくコンテンツ

No.	種別	題名
1	団体	令和5年度スポーツ庁補助金事業 大阪府・堺市・大阪成蹊大学・セレッソ大阪・明治安田生命連携 今日からできる！効果的なウォーキングで楽しくみんなで健康づくりリーフレット

(4) メディア掲載

科学的根拠に基づいた健康情報を普及啓発するため、広報活動を実施した。実施状況に関しては下表のとおり。

No.	年	月	媒体	掲載（番組）タイトル
1	2023	8	Web	日本自動車連盟 東京支部 お家で健康スタンプラリー
2	2023	9	Web	テレビ愛知 健康経営のメリットについて
3	2023	11	Web	千葉興業銀行 経営サポートコラム 健康経営とは？企業が健康経営に取り組む意義を解説

Ⅲ．理事会に関する事項

定時理事会議事録

一般財団法人 明治安田健康開発財団

2023年5月29日（月）午後3時28分、東京都渋谷区代々木3-22-7 新宿文化クイントビルにて理事会を開催した。

会 議 の 目 的 事 項

決議事項

- 第1号議案 第7期計算書類等承認の件
- 第2号議案 定時評議員会みなし決議の件

報告事項

- 第1号報告 2022年度職務執行状況報告の件

総理事数および出席理事数

- (1) 総理事数 3名
- (2) 出席理事数 3名

出席理事	今泉 宏久氏、森田 健氏、三森 教雄氏
出席監事	石橋 健司氏

1. 開会に先立ち、森田理事より、現在の総理事数3名のうち、理事会開始時の出席理事は3名であり、定款第33条第1項の規定によって本日の理事会は有効に成立した旨を報告した。
2. 代表理事今泉宏久氏は、定款32条の規定により、議長を務める旨を述べて開会を宣したのち、定款34条の規定に従って、本理事会の議事録を作成のうえ、代表理事および監事が記名押印することを述べた。
3. 議長は、第1号議案「第7期計算書類等承認の件」を上議し、議長が別紙資料を用い説明した。石橋監事より、計算書類等の監査結果について適正である旨の講評をいただいた。議長は、審議を求めたところ、全員異議なく賛成し、可決承認された。
4. 議長は、第2号議案「定時評議員会みなし決議の件」を上議し、別紙資料を用い説明した。議長は、審議を求めたところ、全員異議なく賛成し、可決承認された。
5. 議長は、第1号報告「2022年度職務執行状況報告の件」を上議し、森田理事が別紙資料を用い報告した。石橋監事より三森理事に対し、移転後の混乱等（含. システムトラブル等）の有無について確認があったが、大きなトラブルなく運営していることを三森理事が説明。コンサル会社の想定した運営と異なる部分もあるが、今後運営を見直して高能率化を推進していくこともあわせて報告した。

以上をもって議事を終了したので、午後3時52分、議長は閉会を宣言した。議事の経過の要領および結果を明確にするため、代表理事および監事が議事録に記名押印する。

定時理事会議事録

一般財団法人 明治安田健康開発財団

2024年3月19日（火）午後3時00分、東京都渋谷区代々木3-22-7 新宿文化クイントビルにて理事会を開催した。

会 議 の 目 的 事 項

決議事項

- 第1号議案 中期経営計画策定の件
- 第2号議案 2024年度（第9期）経営計画・収支予算の件
- 第3号議案 監事候補者1名選出の件
- 第4号議案 評議員会（書面開催）の件

報告事項

- 第1号報告 2023年度（第8期）業務執行状況報告の件
- 第2号報告 明治安田新宿健診センター「運営の基本方針」改正の件
- 第3号報告 監事1名退任の件

総理事数および出席理事数

- (1) 総理事数 3名
- (2) 出席理事数 3名

出席理事	今泉 宏久氏、森田 健氏、三森 教雄氏
出席監事	石橋 健司氏

1. 開会に先立ち、森田理事より、現在の総理事数3名のうち、本日の出席理事は3名であり、定款第33条第1項の規定によって本日の理事会は有効に成立した旨を報告した。
2. 代表理事今泉宏久氏は、定款32条の規定により、議長を務める旨を述べて開会を宣したのち、定款34条の規定に従って、本理事会の議事録を作成のうえ、代表理事および監事が記名押印することを述べた。
3. 議長は、第1号報告「2023年度（第8期）業務執行状況報告の件」を上議し、森田理事が別紙資料を用い報告した。石橋監事より、当期経常増減額のマイナス要因について質問があり、森田理事が健診収入不足が主因であると回答した。
4. 議長は、第1号議案「中期経営計画策定の件」を上議し、別紙資料を用い説明した。石橋監事より、経営目標・収支計画について当初立てていた目標・計画を資料に追記するよう指示があり、議長は了承した。その後議長が審議を求めたところ、全員異議なく賛成し、可決承認された。
5. 議長は、第2号議案「2024年度（第9期）経営計画・収支予算の件」を上議し、別紙資料を用い説明した。議長は、審議を求めたところ、全員異議なく賛成し、可決承認された。
6. 議長は、第3号議案「監事候補者1名選出の件」を上議し、別紙資料を用い説明した。議長は審議を求めたところ、全員異議なく賛成し、可決承認された。
7. 議長は、第4号議案「評議員会（書面開催）の件」を上議し、別紙資料を用い説明した。議長は、審議を求めたところ、全員異議なく賛成し、可決承認された。
8. 議長は、第2号報告「明治安田新宿健診センター「運営の基本方針」改正の件」を上議し、別紙資料を用い報告した。
9. 議長は、第3号報告「監事1名退任の件」を上議し、別紙資料を用い報告した。

以上をもって議事を終了したので、午後3時25分、議長は閉会を宣言した。

IV. 評議員会に関する事項

みなし決議に関する評議員会議事録

一般財団法人 明治安田健康開発財団

1. 評議員会の決議があったものとみなされた日
2023年6月19日
2. 評議員会の決議があったものとみなされた事項の提案者
代表理事 今泉 宏久
3. 評議員会の決議があったものとみなされた事項の内容
第1号議案 第7期計算書類等承認の件
4. 評議員総数 4名
5. 議事録の作成に係る職務を行った理事
代表理事 今泉 宏久

2023年5月31日、代表理事今泉宏久が評議員の全員に対して、評議員会の決議の目的である事項について上記の内容の提案書を発し、当該提案につき2023年6月19日までに評議員の全員から書面により同意の意思表示を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律194条（定款第19条第4項）に基づく評議員会の決議の省略の方法により、当該提案を承認可決する旨の評議員会決議があったものとみなされた。

みなし決議に関する評議員会議事録

一般財団法人 明治安田健康開発財団

1. 評議員会の決議があったものとみなされた日
2024年3月28日
2. 評議員会の決議があったものとみなされた事項の提案者
代表理事 今泉 宏久
3. 評議員会の決議があったものとみなされた事項の内容
第1号議案 監事1名選任の件（別紙第1号議案のとおり）
4. 評議員総数 4名
5. 議事録の作成に係る職務を行った理事
代表理事 今泉 宏久

2024年3月19日、代表理事今泉宏久が評議員の全員に対して、評議員会の決議の目的である事項について上記の内容の提案書を発し、当該提案につき2024年3月28日までに評議員の全員から書面により同意の意思表示を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律194条（定款第19条第4項）に基づく評議員会の決議の省略の方法により、当該提案を承認可決する旨の評議員会決議があったものとみなされた。

V. 寄附に関する事項

第8期は、明治安田生命保険相互会社から下記のとおり寄附を受けた。

受領年月日	金額（円）
2023年10月4日	120,000,000

VI. 受取補償金に関する事項

第8期は、明治安田生命保険相互会社から下記のとおり受取補償金を受けた。

受領年月日	金額（円）
2023年4月20日	975,600,000

第 8 期 決 算 報 告

2023年4月1日から2024年3月31日まで

I. 貸借対照表

2024年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現 金 預 金	55,677,353	372,168,666	- 316,491,313
未 収 金	82,020,301	69,332,692	12,687,609
前 払 金	19,911,926	27,116,561	- 7,204,635
貯 蔵 品	2,172,996	1,118,177	1,054,819
未 収 消 費 税 等	40,580,600	0	40,580,600
流 動 資 産 合 計	200,363,176	469,736,096	- 269,372,920
2. 固 定 資 産			
(1) 基本財産			
普 通 預 金	3,000,000	3,000,000	0
基 本 財 産 合 計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	48,429,603	44,828,767	3,600,836
特 定 資 産 合 計	48,429,603	44,828,767	3,600,836
(3) その他固定資産			
建 物 附 属 設 備	764,382,672	0	764,382,672
什 器 備 品	383,843,804	47,264,655	336,579,149
ソ フ ト ウ ェ ア	11,980,636	16,395,133	- 4,414,497
建 設 仮 勘 定 金	0	419,760,000	- 419,760,000
敷 金	217,221,000	217,221,000	0
その他固定資産合計	1,377,428,112	700,640,788	676,787,324
固 定 資 産 合 計	1,428,857,715	748,469,555	680,388,160
資 産 合 計	1,629,220,891	1,218,205,651	411,015,240
II 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未 払 金	46,053,251	39,714,463	6,338,788
預 り 金	34,879,771	5,932,080	28,947,691
未 払 法 人 税 等	70,000	70,000	0
賞 与 引 当 金	22,490,266	14,243,150	8,247,116
未 払 消 費 税 等	0	15,221,400	- 15,221,400
流 動 負 債 合 計	103,493,288	75,181,093	28,312,195
2. 固 定 負 債			
退職給付引当金	48,429,603	44,828,767	3,600,836
固 定 負 債 合 計	48,429,603	44,828,767	3,600,836
負 債 合 計	151,922,891	120,009,860	31,913,031
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指 定 正 味 財 産 合 計	0	0	0
2. 一般正味財産			
一 般 正 味 財 産 合 計	1,477,298,000	1,098,195,791	379,102,209
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	0
正 味 財 産 合 計	1,477,298,000	1,098,195,791	379,102,209
負債及び正味財産合計	1,629,220,891	1,218,205,651	411,015,240

Ⅱ．正味財産増減計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	2,813	3,056	- 243
特定資産受取利息	2,813	3,056	- 243
事業収益	785,097,696	739,091,849	46,005,847
健診事業収益	746,133,118	701,647,108	44,486,010
業務受託収益	10,048,728	15,143,273	- 5,094,545
健康増進支援事業収益	28,915,850	22,301,468	6,614,382
受取寄附金	120,000,000	210,000,000	- 90,000,000
受取寄附金	120,000,000	210,000,000	- 90,000,000
雑収益	543,128	992,954	- 449,826
雑収益	543,128	992,954	- 449,826
経常収益計	905,643,637	950,087,859	- 44,444,222
(2) 経常費用			
事業費	1,224,924,117	768,529,223	456,394,894
役員報酬	3,573,408	3,677,796	- 104,388
給料手当	484,026,779	372,803,860	111,222,919
法定福利費	56,494,133	42,745,025	13,749,108
臨時雇賃金	16,484,571	14,241,998	2,242,573
退職給付費用	12,414,066	15,135,641	- 2,721,575
福利厚生費	15,349,888	12,392,956	2,956,932
派遣経費	5,592,596	2,380,950	3,211,646
旅費交通費	4,726,349	1,659,014	3,067,335
通信搬費	22,839,473	17,628,468	5,211,005
減価償却費	140,521,125	19,613,617	120,907,508
消耗什器備品費	2,636,056	3,758,420	- 1,122,364
消耗品費	41,126,067	26,304,080	14,821,987
修繕費	18,496,966	11,729,851	6,767,115
保守費	10,491,464	6,721,964	3,769,500
印刷製本費	16,269,687	10,257,681	6,012,006
研究調査費	1,537,317	2,307,497	- 770,180
光熱水料	13,110,358	7,841,815	5,268,543
リース料	15,052,207	5,620,287	9,431,920
賃借料	223,064,257	91,459,321	131,604,936
不動産管理費	12,252,679	5,780,160	6,472,519
不保料	0	11,440	- 11,440
租税公課	6,900	3,000	3,900
委託費	80,763,324	73,968,704	6,794,620
業務推進費	20,716,641	14,907,023	5,809,618
諸謝金	0	45,455	- 45,455
雑費	7,377,806	5,533,200	1,844,606

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管 理 費	53,828,081	51,495,674	2,332,407
役 員 報 酬	4,079,151	4,173,927	- 94,776
給 料 手 当	25,961,472	24,325,892	1,635,580
法 定 福 利 費	4,895,589	4,177,574	718,015
福 利 厚 生 費	1,683,960	1,683,251	709
派 遣 経 費	828,210	1,372,695	- 544,485
旅 費 交 通 費	169,854	116,091	53,763
通 信 運 搬 費	432,039	166,077	265,962
減 価 償 却 費	617,963	396,090	221,873
消 耗 什 器 備 品 費	181,500	329,673	- 148,173
消 耗 品 費	338,839	438,737	- 99,898
修 繕 繕 守 費	20,900	187,250	- 166,350
保 刷 製 本 費	3,095,096	2,481,284	613,812
印 究 調 査 費	248,447	225,894	22,553
研 一 ス 料	134,908	22,273	112,635
リ 一 ス 料	730,340	776,344	- 46,004
保 険 謝 公 課	919,290	482,660	436,630
諸 租 税 公 課	2,693,910	2,764,000	- 70,090
支 払 寄 付 金	810,382	951,624	- 141,242
業 務 推 進 費	2,000,000	2,000,000	0
委 託 費	783,110	1,707,400	- 924,290
雑 費	3,120,247	2,634,172	486,075
	82,874	82,766	108
経常費用計	1,278,752,198	820,024,897	458,727,301
当 期 経 常 増 減 額	- 373,108,561	130,062,962	- 503,171,523
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
移 転 補 償 金	975,600,000	560,000,000	415,600,000
経常外収益計	975,600,000	560,000,000	415,600,000
(2) 経常外費用			
建 物 付 属 設 備 除 却 損	0	22,863,460	- 22,863,460
什 器 備 品 除 却 損	0	4,532,582	- 4,532,582
雑 損 失	108,430,652	20,016,461	88,414,191
移 転 費 用	114,888,578	59,515,936	55,372,642
経常外費用計	223,319,230	106,928,439	116,390,791
当 期 経 常 外 増 減 額	752,280,770	453,071,561	299,209,209
税引前当期一般正味財産増減額	379,172,209	583,134,523	- 203,962,314
法人税、住民税及び事業税	70,000	- 24,722,881	24,792,881
当期一般正味財産増減額	379,102,209	607,857,404	- 228,755,195
一般正味財産期首残高	1,098,195,791	490,338,387	607,857,404
一般正味財産期末残高	1,477,298,000	1,098,195,791	379,102,209
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	1,477,298,000	1,098,195,791	379,102,209

正味財産増減計算書内訳表

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位：円)

科 目	健診事業	健康増進 支援事業	法人会計	内部取引等 消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
特定資産運用益			2,813		2,813
特定資産受取利息			2,813		2,813
事業収益	756,181,846	28,915,850			785,097,696
健診事業収益	746,133,118				746,133,118
業務受託収益	10,048,728				10,048,728
健康支援事業収益		28,915,850			28,915,850
受取寄附金		120,000,000			120,000,000
受取寄附金		120,000,000			120,000,000
雑収益	367,558		175,570		543,128
雑収益	367,558		175,570		543,128
経常収益計	756,549,404	148,915,850	178,383		905,643,637
(2) 経常費用					
事業費	1,082,497,114	142,427,003			1,224,924,117
役員報酬	1,234,080	2,339,328			3,573,408
給料手当	410,667,317	73,359,462			484,026,779
法定福利費	44,812,100	11,682,033			56,494,133
臨時雇賃金	16,484,571	0			16,484,571
退職給付費用	11,755,956	658,110			12,414,066
福利厚生費	11,819,099	3,530,789			15,349,888
派遣経費	5,592,596	0			5,592,596
旅費交通費	225,170	4,501,179			4,726,349
通信運搬費	21,654,567	1,184,906			22,839,473
減価償却費	133,883,201	6,637,924			140,521,125
消耗什器備品費	2,059,056	577,000			2,636,056
消耗品費	36,183,103	4,942,964			41,126,067
修繕費	16,627,498	1,869,468			18,496,966
保守費	10,379,084	112,380			10,491,464
印刷製本費	15,369,110	900,577			16,269,687
研究調査費	1,441,760	95,557			1,537,317
光熱水料費	11,874,266	1,236,092			13,110,358
リース料	13,188,847	1,863,360			15,052,207
賃借料	200,977,616	22,086,641			223,064,257
不動産管理費	11,041,308	1,211,371			12,252,679
委託費	80,763,324	0			80,763,324
業務推進費	17,696,675	3,019,966			20,716,641
雑費	6,759,910	617,896			7,377,806
租税公課	6,900	0			6,900

科 目	健診事業	健康増進 支援事業	法人会計	内部取引等 消去	合 計
管 理 費			53,828,081		53,828,081
役 員 報 酬			4,079,151		4,079,151
給 料 手 当			25,961,472		25,961,472
法 定 福 利 費			4,895,589		4,895,589
福 利 厚 生 費			1,683,960		1,683,960
派 遣 経 費			828,210		828,210
旅 費 交 通 費			169,854		169,854
通 信 運 搬 費			432,039		432,039
減 価 償 却 費			617,963		617,963
消 耗 什 器 備 品 費			181,500		181,500
消 耗 品 費			338,839		338,839
修 繕 費			20,900		20,900
保 守 費			3,095,096		3,095,096
印 刷 製 本 費			248,447		248,447
研 究 調 査 費			134,908		134,908
リ ー ス 料			730,340		730,340
保 険 付 料			919,290		919,290
支 払 寄 付 金			2,000,000		2,000,000
諸 謝 金			2,693,910		2,693,910
業 務 推 進 費			783,110		783,110
租 税 公 課			810,382		810,382
委 託 費			3,120,247		3,120,247
雑 費			82,874		82,874
經常費用計	1,082,497,114	142,427,003	53,828,081		1,278,752,198
当 期 經 常 増 減 額	- 325,947,710	6,488,847	- 53,649,698		- 373,108,561
2. 經常外増減の部					
(1) 經常外収益					
移 転 補 償 金			975,600,000		975,600,000
經常外収益計			975,600,000		975,600,000
(2) 經常外費用					
建物付属設備除却損 手 数 料		97,200	20,000,000		20,097,200
雑 損 失			108,430,652		108,430,652
移 転 費 用	94,791,378				94,791,378
經常外費用計	94,791,378	97,200	128,430,652		223,319,230
当 期 經 常 外 増 減 額	- 94,791,378	- 97,200	847,169,348		752,280,770
他会計振替前					
当期一般正味財産増減額	- 94,791,378	- 97,200	847,169,348		752,280,770
他 会 計 振 替 額					
税引前当期一般正味財産増減額	- 420,739,088	6,391,647	793,519,650		379,172,209
法人税、住民税及び事業税			70,000		70,000
当期一般正味財産増減額	- 420,739,088	6,391,647	793,449,650		379,102,209
一般正味財産期首残高					
一般正味財産期末残高	- 420,739,088	6,391,647	793,449,650		379,102,209
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額					
指定正味財産期首残高					
指定正味財産期末残高					
III 正味財産期末残高	- 420,739,088	6,391,647	793,449,650		379,102,209

Ⅲ. 財務諸表に対する注記

1. この財務諸表は「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 令和2年5月15日最終改正内閣府公益認定等委員会)によって作成されています。

2. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品は最終仕入原価法により期末評価を行なっています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産及び無形固定資産の減価償却の方法は定額法を適用しています。

(3) 賞与引当金の計上基準

従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しています。

価値創造報酬制度の導入ならびに契約社員・定時職員等の賞与支払いに伴い、令和6年から追加支給が開始されるため、当期の繰入額が5,066千円増加しています。

(4) 退職給付引当金の計上基準

退職給付引当金については、次の方法により期末要支給額を計上しています。

(定年退職扱いが適用される55歳到達時以前)

退職金規定に基づく期末要支給額を計上(従来どおり)

(定年退職扱いが適用される55歳到達時以降)

退職金規定に基づく期末要支給額をもとに、55歳到達時から60歳到達時までの各年度の費用が平準化されるよう引当金を計上

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式を適用しています。

(6) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、リース会計基準を適用しています。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
	円	円	円	円
基本財産				
普通預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	44,828,767	12,364,066	8,763,230	48,429,603
小 計	44,828,767	12,364,066	8,763,230	48,429,603
合 計	47,828,767	12,364,066	8,763,230	51,429,603

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
	円	円	円	円
基本財産				
普通預金	3,000,000	－	(3,000,000)	－
小 計	3,000,000	－	(3,000,000)	－
特定資産				
退職給付引当資産	48,429,603	－	－	(48,429,603)
小 計	48,429,603	－	－	(48,429,603)
合 計	51,429,603	－	(3,000,000)	(48,429,603)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
	円	円	円
建 物 附 属 設 備	821,771,386	57,388,714	764,382,672
什 器 備 品	575,041,065	79,335,877	383,843,804
合 計	1,396,812,451	136,724,591	1,148,226,476

6. 関連当事者との取引内容

当期は関連当事者である明治安田生命保険相互会社より、健康増進支援センター運営資金として寄附金120,000,000円を、事務所移転にかかる移転補償金として975,600,000円を受領しております。

IV. 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、「財務諸表に対する注記」に記載のとおりです。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞 与 引 当 金	14,243,150	22,490,266	14,243,150		22,490,266
退職給付引当金	44,828,767	12,364,066	8,763,230		48,429,603

V. 財産目録

2024 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金 預金	手元保管	運転資金として	1,217,163
		普通預金	運転資金として	54,460,190
		三菱 UFJ 銀行 新宿中央支店	新宿健診センター	20,245,722
		新宿中央支店	健康増進支援センター	28,239,614
		八十二銀行 新宿支店	新宿健診センター	1,845,861
		広島銀行 東京支店	新宿健診センター	1,698,195
		静岡銀行 新宿支店	新宿健診センター	29,826
		横浜銀行 新宿支店	新宿健診センター	82,429
		東日本銀行 新宿支店	新宿健診センター	947,313
		肥後銀行 東京支店	新宿健診センター	647,864
		スルガ銀行 東京支店	新宿健診センター	332,038
		山梨中央銀行 新宿支店	新宿健診センター	36,476
		みずほ銀行 新宿新都心支店	新宿健診センター	354,852
	未収金	健診事業	健診事業の未収金等	71,235,168
		健康増進支援事業	講演料等未収金	10,784,710
			源泉所得税未収金	423
	前払金		賃借料の前払金	19,911,926
	貯蔵品	手元保管	医薬品等の貯蔵品	2,172,996
	未収消費税		還付消費税	40,580,600
流動資産合計				200,363,176
(固定資産)				
基本財産	預金	普通預金	最低純資産額の維持・確保を目的とする財産	3,000,000
		三菱 UFJ 銀行 新宿中央支店		3,000,000

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
特定資産	退職給付引当資産	普通預金 三菱 UFJ 銀行 新宿中央支店	退職金支払いの資金として管理されている預金	48,429,603 48,429,603
その他固定資産	建物附属設備 什器備品 ソフトウェア 敷金	東京都渋谷区代々木 3-22-7	各事業の用に供している	1,377,428,112 764,382,672 383,843,804 11,980,636 217,221,000
固定資産合計				1,428,857,715
資産合計				1,629,220,891
(流動負債)	未払金 未払金 割賦未払金 預り金 賞与引当金 未払法人税等		什器備品・消耗品の購入、 外注検査費未払分等 従業員から預かった社会 保険料等 従業員に対する賞与引当 金 未払法人税等	46,053,251 43,953,161 2,100,090 34,879,771 22,490,266 70,000
流動負債合計				103,493,288
(固定負債)	退職給付引当金		従業員に対する退職給付 引当金	48,429,603
固定負債合計				48,429,603
負債合計				151,922,891
正味財産				1,477,298,000

Ⅵ. 監査報告書

監査報告書

2024 年 5 月 15 日

一般財団法人 明治安田健康開発財団

理事長 今泉 宏久殿

監事

松田 裕之 

私は、当財団の 2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までの第 8 期事業年度の理事の職務執行について監査を行いましたので、一般社団法人および一般財団法人に関する法律第 99 条第 1 項(同法 197 条において準用する第 99 条第 1 項)の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私は理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、第 8 期理事会資料を精査し、理事等からその職務執行について報告を受け、重要な決算書類を閲覧し、当財団の事務所において業務および財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当事業年度に係る事業報告を監査しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当事業年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

①事業報告は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示しているものと認めます。

②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当財団の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

第 9 期 事 業 計 画

2024年4月1日から2025年3月31日まで

I. 基本方針

第9期（2024年度）は、中期経営計画（2024年度～2026年度）のスタート年度として、健診エリアの拡充効果および営業体制の強化等を通じ、人間ドック等の受診者を増加し、健診収益の大幅な拡大に向けた取組みを進める。

あわせて、専門職・事務職の個人能率の改善、新規オプションの導入等により、サービス体制を強化し、次世代型の健診センター・健康増進支援センターの構築にまい進する。

1. 人間ドック（健診）事業

新健診センターにおいて、これまでにない健診サービスの質的向上等を通じ、受診者の満足度向上を図り、選ばれ続ける健診センターとして、受診者数、健診収益の大幅な増大に取り組む。

健診技術の一層の向上を図るとともに、睡眠検査や無痛MRI乳がん検診等、時勢に即したオプション検査を導入するなど、受診を喚起する諸対策を積極的に進める。

2. 健康増進支援事業

明治安田グループの「みんなの健活プロジェクト」における健康増進支援に加えて、「地元の元気プロジェクト」に関わるイベント支援等を通じ、健康増進の推進に取り組む。

健康経営に関わる業務では、健康経営優良法人の認定支援等を通じ、企業・団体の従業員の健康増進をサポートする。各種コンテンツの開発にあたっては子供から高齢者までの幅広いラインナップを実装し、展開を行なう。

II. 実行計画

1. 人間ドック（健診）事業

人生100年時代を見据え、受診者一人ひとりの「健康増進・健康維持」を応援し、選ばれ続ける「安心と信頼」の健診センターの運営を推進

(1) 受診者数と健診収益を大幅に増大させるための諸対策の実施

- ①新規受診者の獲得へ向け、ホームページの充実やWeb予約システムやWeb問診システムを活用し、お客さまの利便性向上を図るとともに、明治安田グループを含む既契約団体のさらなる深耕、新規契約団体の開拓に注力
- ②加えて、自宅で行なうオプション検査（睡眠検査、腸内フローラ検査）や無痛MRI乳がん検査等、時勢に即したオプション検査を導入するなど、お客さまニーズをふまえた受診を喚起する諸対策を推進
- ③継続受診率の向上にむけ、特に初回受診者への継続受診を勧奨するとともに、各種データ分析による有効なサービスの提供、勧奨ハガキの発信、アプリ活用等により、受診勧奨を

推進

- ③午後の時間を活用した人間ドックと単科検診（乳ガン検診・婦人科検診）を推進するとともに、協会けんぽの健診受入れ拡大で、多様な受診者ニーズに対応
- ④内視鏡検査室を2室から8室に拡充したことから、消化管上部・下部の単科検診を導入するなど、オプション検査としての内視鏡検査拡大に注力
- (2) 健診精度の向上および職員のスキルアップの支援
 - ①人間ドック健診施設機能評価 Ver.5.0、マンモグラフィ検診施設・画像評価等、健診施設優良認定に向けた取組みを継続
 - ②職員のスキルアップのため研修会等への参加奨励と関係資格取得のための支援、およびSDGs・LGBTQに関する講演会等社内研究会・研修会を計画的に実施
- (3) 健康増進・疾病予防に関するアフターフォローの推進
 - ①健康診断時におけるリスクスクリーニングによる未病、予防の取組みを推進
 - ②健康診断結果に基づく、精密検査・再検査の勧奨や健康情報の提供を目的とした健診結果改善フォローを強化
 - ③健康診断の当日結果説明の充実、運動・栄養・医師による保健指導を強化
 - ④健康保険組合からの要請に対応できる特定保健指導体制を構築
- (4) 事務リスクの縮減と健診サービスの向上
 - ①円滑で効率的な事務運営と事務リスク縮減を図るために運営体制を強化
 - ②お客さま満足度の一層の向上に向けた運営を推進
 - ③無料アプリ「CARADA 健診サポート」のさらなる活用等サービスの高度化を推進

2. 健康増進支援事業

明治安田グループの健活拠点「健活ステーション」^(※)として、業務を一層拡大し、明治安田グループのヘルスケア事業の中核機関として成長する。

(※)「健活ステーション」：明治安田・グループ会社等の従業員だけでなく一般の方々も健康に関して、「学ぶ」、「体験する」ことが出来る健活拠点

- ・情報発信拠点として、健康増進セミナー・イベントの企画運営を強化するとともに、明治安田グループ向け健活のコンテンツ開発を強化
- ・健診データを利活用した財団独自の健康関連エビデンスを構築

〈具体的実施事項〉

- (1) 明治安田グループの「みんなの健活プロジェクト」を支援
 - ①全従業員の健康診断結果の改善を含めたヘルスリテラシーの向上
 - ②日常生活に即した内容の体験型セミナーの開催
 - ③職場の健康づくりプログラムの提供で健活をサポート
- (2) 明治安田グループの「地元の元気プロジェクト」を支援
 - ①自治体との連携における健康増進に関するイベント・セミナーなどの支援
 - ②公民館等新しいアフィニティにおけるサービスの開発と実施
- (3) 健康経営を推進する団体・企業の支援
 - ①健康経営優良法人の認定支援を中心とした団体・企業の健康経営を支援
 - ②健康経営を支援するためのコンテンツ開発
- (4) 財団発エビデンスの構築と発信

- ①学会発表・プレス配信・報告書作成等による情報公開
- (5) 職員のスキルアップの支援
- 上記（1）から（4）を実行するにあたり、科学的根拠に基づいた、効果の高い支援が提供できる人材を育成

Ⅲ. 収支予算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	健診事業	健康増進 支援事業	法人会計	内部取引等 消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
特定資産運用益			5		5
事業収益	955,457	31,962			987,419
健診事業収益	943,827	0			943,827
健診収益	941,172	0			941,172
保険診療収益	2,655	0			2,655
健康増進支援事業収益	0	31,962			31,962
業務受託収益	11,630	0			11,630
受取寄附金	14,000	120,000			134,000
雑収益	1,000		50		1,050
経常収益計	970,457	151,962	55		1,122,474
(2) 経常費用					
事業費	1,192,147	157,433			1,349,580
給料手当	439,632	88,816			528,448
法定福利費	47,418	12,494			59,912
臨時雇賃金	16,959				16,959
退職給付費用	8,813				8,813
福利厚生費	13,772	3,214			16,986
派遣経費	19,039				19,039
旅費交通費	805	9,000			9,805
通信運搬費	22,640	1,034			23,674
減価償却費	191,921	7,736			199,656
消耗什器備品費	1,400	500			1,900
消耗品費	31,691	4,009			35,700
修繕費	10,778	1,048			11,826
保守費	18,137	312			18,449
印刷製本費	12,244	972			13,216
研究調査費	1,455	341			1,796
光熱水料費	10,778	1,220			11,998
リース料	16,785	1,708			18,493
賃借料	179,207	19,912			199,119
不動産管理費	9,853	1,095			10,948
委託費	114,231				114,231
業務推進費	17,444	3,437			20,880
雑費	6,927	496			7,423
諸謝金	200	100			300
租税公課	20				20

科 目	健診事業	健康増進 支援事業	法人会計	内部取引等 消去	合 計
管 理 費			70,441		70,441
役 員 報 酬			94		94
給 料 手 当			32,453		32,453
法 定 福 利 費			4,758		4,758
福 利 厚 生 費			1,910		1,910
派 遣 経 費			2,280		2,280
旅 費 交 通 費			155		155
通 信 運 搬 費			426		426
減 価 償 却 費			863		863
消 耗 什 器 備 品 費			182		182
消 耗 品 費			337		337
修 繕 費			300		300
保 守 費			3,085		3,085
印 刷 製 本 費			248		248
研 究 調 査 費			30		30
リ ー ス 料			699		699
保 険 料			600		600
支 払 助 成 金			2,000		2,000
委 託 費			3,855		3,855
業 務 推 進 費			1,010		1,010
雜 費			85		85
会 議 費			100		100
諸 謝 金			2,592		2,592
租 税 公 課			12,380		12,380
経 常 費 用 計	1,192,147	157,433	70,441		1,420,021
当 期 経 常 増 減 額	- 221,690	- 5,472	- 70,386		- 297,548
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経 常 外 収 益 計					
(2) 経常外費用					
経 常 外 費 用 計					
当 期 経 常 外 増 減 額					
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	- 221,690	- 5,472	- 70,386		- 297,548

役員・評議員名簿

役 員 名 簿

理 事 長 今 泉 宏 久

理 事 森 田 健

理 事 三 森 教 雄

監 事 石 橋 健 司 明治安田生命保険相互会社 関連事業部長

評 議 員 名 簿

阪 本 要 一 東京慈恵会医科大学客員教授

下 門 顯太郎 東京医科歯科大学名誉教授

上 坊 敏 子 独立行政法人地域医療機能推進機構相模野病院
婦人科腫瘍センター顧問

室 山 尚 子 明治安田生命東京診療所所長

